

【投資】	雨水流出抑制対策等工事助成	予算額	50,056 千円
【既定】	グリーンインフラの推進	予算額	18,074 千円

事業の目的・概要

気候変動等の影響により、近年、激甚化・頻発化する集中豪雨や大型台風に備えるため、道路や公園、公共施設における雨水流出抑制対策の強化やグリーンインフラ※を活用した水害対策を進めるとともに、個人住宅等における雨水浸透施設の設置助成を進め、水害に強いまちづくりを推進します。

区では、総合的な治水対策を進めるうえで、都による河川、下水道、調節池などのハード整備と両輪で、グリーンインフラの活用を進めていく考えです。

グリーンインフラについては、水害対策のみならず地球温暖化の防止をはじめとした地域における課題解決としても活用可能であることから、区民とともに考え協働して取り組んでいきます。



井草地域区民センターに整備した雨庭
(グリーンインフラの一例)

※グリーンインフラ (Green Infrastructure) …

自然 (グリーン) 環境が有する機能をインフラ整備に活用するという考え方で、昨今、欧米を中心に取組が進められ、国内でもその取組が推進されている。

主な取組内容

➤ 雨水流出抑制対策の推進

雨水流出抑制対策については、東京都の神田川と目黒川流域豪雨対策計画に基づき、雨水浸透施設等の設置を進めており、令和 19 年度までに整備が必要となる目標対策量 627,000 立方メートルに対し、令和 5 年度末の達成率は 57.7%となっています。引き続き、区道や公園等の透水性舗装化や区立施設への雨水浸透・貯留施設の設置を進めるとともに、民間施設への雨水流出抑制対策としては、雨水浸透施設の設置助成制度による雨水浸透ます等の設置を促進していきます。

➤ グリーンインフラの推進 **拡充**

グリーンインフラについては、令和 6 年に善福寺川流域での研究実績がある専門家のグループと締結した協定に基づき、雨庭の雨水浸透能力の測定やその周知を図るため、桃井原っぱ公園において、区民とともに雨庭づくりを行います。また、科学体験施設「IMAGINUS」と連携し、将来を担う若い世代を対象とした体験型のワークショップを夏休み期間などに開催し、身近でできるグリーンインフラについて知る機会を設けます。

グリーンインフラの取組は、行政だけで進めるのではなく、より多くの区民が関わっていく事で、その効果が大きく発揮されます。一人でも多くの区民の理解や協力を得て取り組む事が重要であり、脱炭素社会の実現に資する取組として、より一層推進していきます。

また、庁内においては、全庁的（組織横断的）な行政課題の解決に向け、多くの職員がグリーンインフラに関する知識を習得するとともに、ロードマップの作成などに取り組んでいきます。